



刊夕日一廿月六

定(一)部金貳錢(廣)五錢十二(休)日曜大祭  
 (月)二限り(告)字詰一行(刊)日曜大祭  
 (一)ヶ月廿錢(料)五十錢(日)日曜大祭  
 印刷所 一〇活版所  
 福島縣石城郡平町田町廿六番地  
 印刷所 一〇活版所

濫りに知事の更迭は弊多し  
 外國では内閣が變れば政黨員は直に政務官に任命せらるゝのが例であつて露國の如きでも獨逸の如きでも大臣は政事家がなつて居るが次官は事務家がなつて居るが政務官と事務官とを兼ねる事は面白くない故に政務次官と事務次官とを置く事が必要である而して事務官は政黨派の關係より全く離れて居る事が必要である人間は已れの欲せざる處に身を置くものでない政治家であつて事務家で無い人が一夜作りで事務次官の席に着いたならば其就任者が困る

のみでなく一般の部下が困る事になるのである政務次官の如きは政黨との懸引等に常に氣を付けて所謂政黨的の行爲を爲せばそれで足れりである省内の事務の如きは總て事務官に一任すればよいのである府縣知事は政務官であるか事務官であるかの二様の學説がある或は知事は政務官なりとして内閣の變る度に毎に轉動するものなりとの説もあるが併し今日ではそれ程判然と區別されて居らぬのである官吏の悲惨なる事は折角に自分の主義主張によつて築上げてやう成功せんとする時代に他より突然出て來て其

職を奪はれ又は交代する事がある上長の命は拒む事能はざると仕事中途で打ち切らるるから其際に甚たしく悲惨を感ずるものである地方官と雖も相當の年限を其土地に滞在して居らねば功績が残るものでない然るに近來の地方官の如く五ヶ年も一ツ所に永く在勤して居る事が出来ぬやうでは何事の仕事も残らぬものである此點に於て地方長官は濫りに更迭せしめず少くも四五年間は同一地方に置く事が必要である(Y.N.人)



中形の盛全  
 人気があつて代表される今年の中形は、紺地に納戸地で柄は緋入と友仙式に分れ、何れも藝術的な涼しいものばかりです。  
 絶体色の落ちぬ、ホントにモスリン風の品、江戸趣味な鮮やかな中形、二圓四十錢から四圓五十錢まで、それは見るから涼しい柄が澤山ございます。品のよい値段の安い店三丁目龜田屋を、兎に角御覽下さい。

お頁に扮した人 氣女優

津守玉枝嬢

帝國館

特作時代劇 夏清十郎 連続(愛戀篇) 大盗傳 連続大活劇 鷹の追跡 其他數番

常磐文藝 小さな詩二つ 宵の夢生 貧民屈の隅つこで 溢で真赤に染つた 共同井戸の通し樋が 薄闇の中に 不平を揃べてゐるのか 涙の様な滴がぼたぼた落る 反逆者の鼠が チョロ／＼横行してる 随分情氣満々の空氣なものだ。 女よ お前は妙な動物だ そして魔法使ひだ 夕方なごにはなるべく 大きいお尻を振らないで下さい。 若い男等のおののき乍ら 一齋に願ふところがです。

短句 不洲坊 海に音なき日を蝶の眠り覺 桃の家へ道知るべくゆく小蝶 かな。 逝く春を花に眠れる蝶一つ うなだるゝダリヤに惱みい や深し。 人戀ひつダリヤ求むや夏の 宵。 樹々は静まり公園の夜は更 けぬらし。 錦にも裏あり夜の公園地。

用入弟徒 術顔美式米歐 町南町平 店髮理谷大

逸獨高級眼鏡 常盤屋時計店 平町一丁目 電話三三九番

入院隨意 花皮小内 柳膚兒 病科科科 青沼醫院 醫學士青沼淡夫 電話四〇三番

初夏新荷着 絹モスリン着尺 金鎗風圖五拾錢より 絹着尺 一反 金拾圓より 一反 金拾圓より (二平。道平。みのる先生筆) 漫書風呂敷 一枚 金壹圓貳拾五錢 芝居模様手拭巾形 一枚 金壹圓八拾五錢より

野中野服店 町平城警 電話七十六番 番八一七三京東替振

好イ店 良品ヲ安ク賣ル クーナーリ 関内藥舖 藥劑師関内栄助 電話四〇番

株賣買中値

左記の値段は日本の標準値に付御用の節は御問合願候

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐越銀行	一〇〇	一〇五
磐城實業	三〇〇	二九五
田村實業	一七五	一七〇
四倉銀行	二〇〇	二四五
農工銀行	一五〇	一八八
同新	五〇〇	五五〇
同新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	三八五
同新	二五〇	一八〇
只見川電	一一五	七三
植田水電	一一五	一五五
好問水電	一一五	一四〇
磐城建物	一一五	五五
磐城製菓	二〇〇	六〇
平信託	五〇〇	三五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二八〇
平製氷	二五〇	二二〇
好問軌道	五〇〇	三五〇
入山新	三三五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一一〇
磐城炭礦	五〇〇	四三〇
同新	二二五	一九〇
磐城セメント	五〇〇	六八〇
同新	二五〇	三七〇
平運送	一一五	八〇

東新株 先限 實物 前場後場共入電致居候 平町田町 電話三三二番 丸登株式会社 川添房二郎

### 七十餘名の委員

## 大舉して小田氏訪問

發電所設置の計劃断念を  
懇請して大いに諒解を求む

### 適確な回答は明日

昨日大瀧發電所許可反對同盟會が盛況裡に閉會を告げてから早速常任委員會に移り運動方針に關して議を練つた結果小田炭礦社長小田吉次氏が表面の水利權獲得者である爲め同氏の

### 義侠心 に訴へて平

三萬町民の爲めに發電所設置計劃の断念を懇請する事に決し其場から直ちに大原長太郎氏以下の委員七十餘名は大舉して古鍛冶町なる小田氏邸を訪問せる處同氏不在の爲め夫人に來意を告げ同氏の勤務先なる隅田川炭礦に電話を以つて

### 交渉せ るの結果

## 發電所設置計劃に

## 反對の氣勢益々猛烈

### 平町舉つて連判状

その意氣込み壯烈を極む

平町に於ける發電所反對の氣勢は益々猛烈となり消防組は全員を以つて反對決議の連判状を作り青年團も昨晩大森團長宅に幹部會を開き團員連署の陳情書を作製すべく協議決定した

藤沼平三郎、市原陸郎、青沼淡夫、森原芳男、荻原義雄

の五氏を實行委員に舉げて反對運動を達成せんとの意氣込み壯烈を極め一方衛生會も是れに呼應して奮起し昨夜總會を開會大瀧發電所許可反對同盟會と協力して許可取消を貫徹すべく左記十名の委員

- 市原卯太郎、明智淺吉、鈴木堅助、矢吹大輔、星恒明、根本莊次郎、新妻由五郎、吉田由雄、遠藤爲吉、高久忠

### 常磐片々

栗原君陽氣の加減で夏の虫を眞似たのか火の中に飛び込む

搔かぬで済む恥を掻いて退去を迫られる等は正に栗原式と云ふべし

こんな輕々な事では平町民の利福の保證も出來さうに非らず

だから騒がずに居られないとの某人の言は尤も千萬也

戸數割の審議 平町にては縣稅戸數割賦課額を

現在の平町は發電所反對の空氣が渦を巻いて其勢ひは殆んど停止する處を知らない状態である

### 天然痘患者は

## 十三名

一層蔓延の兆  
石城郡警備村藤原炭礦の天然痘は日増しに蔓延の魔の

### 栗原氏の態度は

## 甚だ奇怪に耐えぬ

### 會衆の怒氣爆發して

### コソコソ然姿を消す

電気は國益事業なりとの美名に藉口して利權を獲得せんとする平電氣企業社栗原欣次郎氏は平三萬町民の死活問題を度外視するものであると多數民衆から憎惡あるとて多敷民衆から憎惡あると居る場合であるを以つて此際は一層上へのせられた魚として飽迄謹慎の意を表すべきであるに拘らず昨日の各區選出委員の會合たる大瀧發電所設置許可反對同盟會々場の一隅に豪然として居る構へた爲め來會者の激怒を招き「我々は彼れが火蓋を切つた發電所設置問題の爲めに貴重な

時間を 金をついやして斯くも苦心焦慮しつゝある場合に際し一箇の傍觀者として平然たる態度を持し我々の行動を冷眼視するは奇ッ怪至極にして厚顔無恥も甚だし」とて場内の空氣騒然たるものあつた爲め好意的に栗原氏に退場を勸告する者あつたに拘らず

手を延べ更らに三名の新患者續發合計十三名に達した爲め全郡に互つて恐慌を呈し平町の如きは卒先強制制種痘を行ふ等目下準備中であるが病毒散滿の状況である爲め一層蔓延の兆あり本縣にては石川防疫官以外に防疫官を増派し連日炭礦附近の檢病視察を行つて居る

自分は平町民の一人として列席したものである」と

抗辯し た爲め「四倉町に住所を定めて置きなから平町民とは何事ゾ」と場内一同の怒氣始めて爆發し「叩き出せ」「殴れ殴れ」と怒立ちになつて怒號するに至つた爲め最初の豪然たる態度とは打つて替はつた栗原氏がコン／＼然として場外に姿を消したのは昨日の發電所反對同盟會の一景物とも云ふべき利權熱慾者の醜態であつた

## 投稿家小集

今晚七時から

本紙の投稿家小集は今晚七時から平銀行樓上にて開會の筈であるが出席申込者は豫想外に多いから非常な賑

## 明日野球試合 平町

白銀町銀星俱樂部は連戦連勝の勢を以つて強敵山崎活版俱樂部に對戦せんと猛練習中の處愈々明日廿二日午前十時野球場中グラウンドにて兩者は野球試合を行ふ由

### 平生人事

△新川町 西己八氏六男定八  
△三丁目 大槻徳藏氏三女幸子  
△北目町 田中芳太郎氏六男芳夫  
△田町 當時東京府豊多摩郡澁橋町 島田和吉氏長男久義

### 死亡

△長崎町 野本タヨ子(一〇)

募集 文藝其他一般投稿を募集します

ひを呈すべく本社にはそれが準備の爲め忙殺されて居る因に小集の模様は次號に詳細報導する豫定である

### 星製薬増配

星製薬會社は来る二十四日午前十一時より定時株主總會を開き年一割二分増の株主配當案並に取締役一名増員の件を附議する筈、右取締役には福井正二郎氏を選任する由である

### 感謝す

平町 赤石 島

△貴紙が我々町民の爲め飽くまで堂々の陣を張り、水道問題に對して奮闘しつゝある事は、常に然るべきことには云へ町民等として殊に感謝の念に堪ぬ次第です  
△私は今度の水道問題に對し、町當局反對乃至會社側辯護の位置に在る、或る一部の人々の真意がはたして何處に在るのか諒解に苦しみ  
△兎に角發電所設立のあかつき我水道が大なる苦痛を受くる事今度の縣當局が取つた態度の不當な事は明かき事實です、この明かな事實に對し、こんな態度に出る或一部の町民は常軌の沙汰ではないかと思存します  
△即ち私達は町當局に鞭撻を加へて斷々乎として積極的の態度を取り以つて當町百年の計を取らねばならぬと思存します。決して兄弟間にわめいあるの秋ではない事に切言いたします

△若し町當局にして遺憾の点があつたならば大計樹立の後には其の非を刺したい私達は先づ徹底するまで奮闘せねばならぬ  
△此の意味で貴社の御奮闘と川崎君の健在を祈ります

『フアン』の合同 帝國新聞には帝キネ會心の特作時代劇「お夏清十郎」を上映中であつて實川延松、活劇を観賞會、延松後援會は合同して新たに帝キネ後援會を命名し、帝キネ會社と連絡を取り、同會社の傑作を観賞應援する由

『フアン』の合同 帝國新聞には帝キネ會心の特作時代劇「お夏清十郎」を上映中であつて實川延松、活劇を観賞會、延松後援會は合同して新たに帝キネ後援會を命名し、帝キネ會社と連絡を取り、同會社の傑作を観賞應援する由